

箕輪町第5次振興計画

区の将来像 実績シート

令和7年度

令和7年度 実績

区名: 沢

キャッチフレーズ: 歴史と伝統を受け継ぎ 次世代の若者が育つ 沢

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
自然に対話が生まれ、次世代が育つ機会をつくるため、これまでも常会等で続けてきた話し合いの場を大切にします	<ul style="list-style-type: none"> ○広報さわを5月と12月に発行し、区の事業、行事や区の現状を紹介し、区民との繋がりを強める広報活動を行う。 ○サロン活動、サークル活動への補助金を継続し、交流の場づくりを応援し、活動を広める援助を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報さわを5月と12月に発行し、区の事業、行事や区の現状を紹介し、区民との繋がりを強める広報活動を行った。 ○サロン活動、サークル活動への補助金を継続し、交流の場づくりを応援し、活動を広める援助を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○広報さわを5月と12月に発行し、区の事業、行事や区の広報活動を継続する。 ○サロン活動、サークル活動への補助金を継続するものの、補助金の使用内容について精査する。
幅広い年齢に対応する行事を開催し、多くの区民が気軽に参加できる行事を企画し実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ○区民スポーツ祭、区民文化祭、納涼祭、区民ハイキング等を実施する。 ○高齢者の慰労と交流の場として「尚歯会」をコロナ前の規模に戻し実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民スポーツ祭、区民文化祭、納涼祭、区民ハイキング等を実施。 ○過去に実施していた区民マレットゴルフ大会を町政70周年を契機に復活して実施した。 ○高齢者の慰労と交流の場として「尚歯会」をコロナ前の規模に戻し実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民スポーツ祭、区民文化祭、納涼祭、区民マレットゴルフ大会等を実施。 ○高齢者(75歳以上)の慰労と交流の場として「尚歯会」を実施。 ○区民が参加しやすい年代を超えた事業を考案する。
高齢化や核家族化が進んでも区や常会との関わりを保つため、役員業務や共同作業等の負担軽減など、新たな仕組みを検討します	<ul style="list-style-type: none"> ○区議会資料&合同協議会資料や公民館行事のお知らせ等を紙ベースの回覧に加え、Google Drive上に一定期間Upし、区民への情報公開を行う。 ○公民館内で使用中のPCがWin11に変更となるタイミングでNASを導入し、ファイルの共有と過去データの一括保存により業務効率をUpする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館内で使用中のPCがWin11に変更となるタイミングでNASを導入し、ファイルの共有と過去データの一括保存により業務効率をUpできた。 ○区議会資料&合同協議会資料や公民館行事のお知らせ等をGoogle Drive上に一定期間Upし、区民への情報公開を行う件については、継続して検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○常会に入っていない区民への区議会資料&合同協議会資料や公民館行事等のお知らせを、どのように情報公開して行くか検討する。

令和7年度 実績

区名:大出

キャッチフレーズ:豊かな自然、肥沃な大地、恵まれた立地に歴史が息づく 大出

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
<p>コロナ禍を考慮した区の活動や対応を考える。区としてやらなくてはならないことを検討して、思い切った精選等により区役員の負担軽減を図ります。また、区内の意思疎通を図っていくためにも、毎月19日の合同会は継続していきます</p>	<p>①コロナ時中止されていた長寿を祝う会(旧敬老会)を実施。 ②高齢者対象のふれあいサロン・おいでよ大出・百歳体操の継続。 ③合同会の継続実施を含めタイムリーな情報提供を実施 ④従来3年毎に行われていた戦没者慰霊祭の開催頻度と内容の簡素化。</p>	<p>①長寿を祝う会実施 10月26日 ②ふれあいサロン3回 おいでよ大出月1回 百歳体操毎週水曜日実施 ③合同会毎月19日実施 資料の充実 ④戦没者慰霊祭簡略化した中で8月17日実施</p>	<p>①長寿を祝う会の継続実施 ②ふれあいサロン・おいでよ大出・百歳体操の継続実施 ③戦没者慰霊祭の毎年実施</p>
<p>ひとり暮らしの高齢者への組内での支え合いマップを推進するだけでなく、満足感をもった生活ができる仕組みを、コロナ禍で活動が少なくなった公民館活動で考えます</p>	<p>①能登地震の教訓から昨年準備してきた防災キャンプのトライアルを実施し来年度本格実施に向け課題整理を行う。 ②今年度より毎年度実施の支え合いマップ・たすけあいアンケートを実施。③昨年は、子供中心の夏祭りを実施したが今年度は箕輪町発足70周年の記念の年のため記念行事としてコロナ前に実施していた納涼祭に戻し多くの区民が交流できる場とする</p>	<p>①防災訓練と連動し避難所設置体験実施 ②支え合いマップ更新及びたすけあいアンケート実施 ③納涼祭実施</p>	<p>①防災キャンプの本格実施 ②支え合いマップ・たすけあいアンケートの継続実施 ③納涼祭の継続実施</p>
<p>子育て世代の夫婦に対して、町と協力して、平林公園の環境整備と大出区への大型遊具の設置を進める。また、空き家を調べ、豊島区との連携で生かしていけるか町と検討します</p>	<p>①平林公園整備2年目として区民がバーベキュー等できるように現状老朽化したテーブル・椅子等と同時にステージの改修も行う。</p>	<p>①平林公園整備2年次実施 ②ツキノワグマゾーニングの実施</p>	<p>①平林公園の3年次実施 ②ツキノワグマゾーニング継続</p>
<p>大人たちから子どもたちに、積極的に「おはようございます」「こんにちは」など、場に合った言葉を声かけして、明るい地域にしていく。子どもたちの気持ちだけでなく、大出地区の一体感を育てます</p>	<p>①合同会・北小見守り隊・北小PTA等の協力を受けながら今までの挨拶運動を強力に進める。 ②挨拶運動の旗が老朽化してきているため更新を図る。</p>	<p>①北小見守り隊の継続実施 ②北小マラソン大会ボランティア参加 ③挨拶運動の老朽化旗等の更新実施</p>	<p>①北小見守り隊の隊員の増員 ②北小マラソン大会ボランティア参加 ③挨拶運動の旗等老朽化の更新</p>

令和7年度 実績

区名:八乙女

キャッチフレーズ:区民の絆が暮らしをつなぐ 心触れ合う 八乙女

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
行事、寺子屋、区史等を通じて区の習わしを後世に伝え、水路橋やグラウンドを維持管理します	<ul style="list-style-type: none"> ・まんど作り、まんど振り ・どんど焼き ・芝刈り等グラウンドの整備 ・史跡案内の維持、管理 ・神社での賀詞交歓会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・まんど作り及びまんど振り:8月 ・どんど焼き:1月 ・グラウンド整備(常時)及び6月人足時 ・新年祝賀式:1月(正八幡社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・麦わら等まんの材料確保 ・伝統後継者の高齢化と減少対策
八乙女オリンピックに代表されるように、区民全員で参加できる取組を行い、魅力ある区をつくります	<ul style="list-style-type: none"> ・若者と年寄りが共に楽しめる催事計画(夏祭り等) ・新区民が気軽に参加できるように声かけ ・町駅伝大会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まつり(夏フェス)の実施:8月 ・町内一周駅伝への参加:9月 幅広年齢層の参加(3チーム)あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の出席の促進と催事の内容の検討 ・駅伝等、少子化による選手集めが年々困難となっている ・行事のマナー化防止
高齢者を温かく包み込む活動と、子供たちが安全・安心に過ごせるように公園や通学路を整備し、支援します	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、高齢者宅への雪かき等の援助 ・寺子屋、サロン等行事の機会の活用 ・高齢者の長寿を祝い、慰労と交流の場を設ける ・支えあいマップの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老慰安会の実施:11月 ・寺子屋の開催時高齢者との食事作りや食事会を開催 ・どんど焼き時に『おいでなんしょ』のメンバーによるおしるこの振る舞い 	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会への高齢者の出席の促進 ・少子化などによる見守り隊への関心の希薄 ・みのわテラスの道の駅化に伴う交通量の増加 ・YSC活動を中心とした取組
みのわメイトを始めとするスマホ利用により、区の情報を発信し、活力ある区を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ・会合や集会及び区の配布書類、声掛けで行事への参画を促す ・区の状況、情報を発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等を活用し、情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・区の情報、状況の発信方法の検討(みのわメイトの活用等)

令和7年度 実績

区名: 下古田
キャッチフレーズ: 伝統を育み 子どもも大人もみんなが輝く 自然豊かな 下古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区内の資源や耕作放棄地を活用できるよう、区内の魅力を再発見し、区民で共有します	1、犬吠地区の花畑作り:フクロナデシコ(主催 下古田の絆)、長寿花園(主催 長寿クラブ)	1. フクロナデシコ、長寿花園ともに実施。 2. 長寿花園は区が苗の購入代金を補助するとともに、植え付け、草取り作業(4回)へ区会議員も参加している。クラブ会員が増えず、作業が大変。	1. フクロナデシコ:現在栽培している犬吠地区の面積拡大を検討していく。 2. 長寿花園は、区長寿クラブが中心に進め、区は苗代等を補助しており、この形で進めていきたい。又は、会員加入を進めていきたい。
昨年同様に、区内の支障木・耕作放棄地の整備を計画的に行います。R6年度から引き続き、町関係者と情報共有を図り、クマ被害防止対策に取り組みます	1、支障木の撤去:約20数か所の整備計画作成(区議・有志) 2、耕作放棄地の整備(草刈り等) 3、クマ出没箇所の草刈り等	1. 延べ13日間実施しました。(ほぼ計画通り) 2. 延べ7日間実施しました。(ほぼ計画通り) 3. 補助金を活用して、緩衝帯整備作業を行いました。(チェーンソー、刈払機使用)	1、2共に範囲が広いので、継続していく必要がある。3は補助金を頼りに緩衝帯整備作業を行います。
イベント内容や開催時期の見直し、検討を行いながら行事を継続し、高齢者や子どもも含めた区民の交流機会の維持・創出をします	1、区民参加のイベント実施:工夫した行事を行う 山菜取り、マレットゴルフ大会、駅伝大会、区民の集い、そば打ち大会、しめ縄づくり、ほんだれ様	1. 多くの行事が実施できた。 椎茸の菌打ち 4/29 駅伝大会 9/23(上古田・下古田チームで出場) 区民の集い 10/19 そば打ち 11/16 しめ縄づくり 12/21 どんど焼き 1/11 ほんだれ様 1/10~1/11	1. コロナ・インフルを意識しながら進める必要がある。駅伝大会については、人が足らず、(特に小学生が少ない)合同チームで参加したが、分館とよく、協議をし、伝統を守りたい。
子どもたちへ自然環境の大切さや豊かさを伝える機会を創出します	1、アレチウリ、オオキンケイゲクの駆除、地域美化活動を継続する 2、不法投棄パトロールを春、秋に実施する 3、山菜取りなどのイベントを実施し、区を取り巻く里山を実感させる	1. アレチウリ駆除を5回(6,7,8,9月)多い時は、200kg 大量に駆除できた。 2. 不法投棄パトロールを3回(4,6,11月)実施 3. 山菜採りの代わりに椎茸の菌打ち(初の試み)を実施し、老若男女問わず多数の参加により大変盛り上がりました。	1、2共に実施をしていきたい。各種イベントについては、公民館と十分協議して、区の良さを伝えていきたい。
一人暮らしの高齢者の安否確認を行います	1、高齢者の独居者を定期的に訪問し、声掛けする 2、介護支援サポーター(8名)と定期的に情報共有を図る	1. 毎月の区会で、独居高齢者情報を持ち寄り、町社協との共有を図った。 2. 一人暮らしで自宅周りの整備困難者の整備作業を区会と有志により支援出来た。	1. 介護支援サポーター(R8年度7名)の方も年々高齢化になりつつあり新規介護支援サポーターの育成必要。

令和7年度 実績

区名:上古田

キャッチフレーズ:皆で一緒に楽しもう! 上古田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
人口の減少傾向に対応しながらも、上古田が取り組んできた様々な取組みを後世につなぐため、役割や行事等のあり方を検討します	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年定着してきた「赤そば区民の集い」の実施形態を見直しながらより多くの区民が参加できるような工夫を進めたい。 ・民生委員、常会長と連携して「支え合いマップ」を作成しながら、高齢者世帯へのフォローを行うとともに、災害時の避難支援も具体的な方法を検討していきたい。 	<p>「赤蕎麦区民の集い」は令和7年度の実施は、見送りました。</p> <p>地区社協と連携しながら、高齢者への訪問活動を行い、要望や困りごとを聞くなどしながら、高齢者支援に勤めました。</p>	<p>実施者側に過度な負担が掛からぬように配慮して実施の検討をしてください。</p> <p>例年通りの実施で良いと思います。実施する側も、高齢者です。</p>
区民それぞれのライフスタイルや価値観を考慮しながら区政への関心が高まるよう、区協議会等に区民の声が届きやすくなるような配慮するとともに、参加しやすい行事を目指します	<ul style="list-style-type: none"> ・各常会長との連絡・相談を大事にしながら、闊達な意見交換ができるような協議会等の運営に努めたい。 ・公民館活動に積極的に参加し支援、協力を行う。(区民の集い、納涼祭、駅伝大会、しめ縄作り等) ・長寿者慰安会の実施方法を検討する。 ・鼓笛隊、子ども会、中学生会、長寿会、健全育成会に支援する 	<p>本年実施した、「納涼祭」は分館役員のアイデア満載で、区民にも喜ばれたと思います。区民大勢の方が集まってくれました。</p> <p>長寿者慰安行事は、記念品の贈呈のみとなりました。</p>	<p>分館活動の在り方は、本年の方式が良いと考えます。要検討です。</p> <p>長寿者慰安行事は公平に、皆が参加できる方法を検討してほしいです。</p>
貴重な文化遺産や豊かな自然を有効に活用し、これまでの活動に、団体間の連携や協力等も加えながら、新たな楽しみを見つけます	<ul style="list-style-type: none"> ・区有林塚の見回り実施(協議委員、林野水権管理委員) ・赤そば畑、花もも街道、あやめ畑等の活動しているグループとの連携を行い、会の活性化と継続に務める。 	<p>財産区の見回りや、水源の確認を通して、地区の財産の保全に努めました。</p>	<p>春の財産区の境界確認見回り。秋の水源見回り、実施を行っていただきます。</p>
安全で安心して暮らせる区になるように取り組みます	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難を含めた安全確保に努めるとともに、必要な備品、非常食等の点検及び補充を行う。 ・区内の危険個所の洗い出しと対策を行う。 	<p>本年も、例年道りの避難訓練が実施できました。新期に室内用テントを購入しました。</p>	<p>引き続き訓練、備品非常食の点検を行ってください。</p>

令和7年度 実績

区名: 中原
キャッチフレーズ: やさしさが、みんなを家族にできる里 中原

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
小回りの良さやまとまりの良さを活かし、高齢者を支えあう仕組み等を整えます	<p>中原セーフコミュニティ「暮らしの安全対策委員会」の活動計画に沿った支え合い活動。</p> <p>①困りごとアンケート、困りごと支援を通して、ゴミ出し、草刈り、雪かき支援を進める。</p> <p>②各家庭への命のカプセル普及を進める。</p> <p>③町社協、中原区民生委員、区会による高齢一人暮らし世帯への訪問、声掛け活動。</p>	<p>①困りごとアンケートで要望のあった世帯のゴミ出しを代行。それぞれのゴミについて担当者を選任し支援を行った。</p> <p>②例年と同じ取り組みを実施し、新たな利用家庭を増やすことが出来た。</p> <p>③町社協、民生委員、区長の3名で高齢者世帯及び高齢一人暮らし世帯を夏冬2回訪問し現在の生活状況について聞き取りを行った。特に一人暮らし世帯については訪問を大変喜んでいただいた。</p>	<p>①「暮らしの安全対策委員会」については引き続き7年度の事業を継続。</p> <p>②「交通安全対策委員会」においては通学路の見守り隊メンバーの補充を進める。また町道377号線と春日街道交差点への歩行者用信号機設置を各方面に働きかける。</p> <p>③社協の「小地域支えあい」活動の高齢者訪問は引き続き継続。</p>
区役員の負担を見直すなど、区の役割分担等を検討します	<p>①各団体の会議については資料の事前配付等を進め、会議開催 回数の削減、会議時間の短縮を図る。</p> <p>②秋の人足は引き続き各組持ち回りでを行い、区民の負担を減らす。</p> <p>③各団体における会費等の戸別集金については、区費徴収日に集中徴収するか、区費で賄うことで徴収そのものを廃止する。</p> <p>④役員が該当作業への出勤が困難な場合は区民から代行者を立て協力してもらう。</p>	<p>①各団体共に会議資料、経過報告については戸別配布することで会議数及び経費の削減を図ることが出来た。</p> <p>②区民を動員しての人足は例年同様に「秋の人足」を各組持ち回りで区民の負担を減らすことが出来た。</p> <p>③隔月に行っている区費徴収日に合わせて、神社費、安協会費等を集金し若干の負担軽減を進めることが出来た。</p> <p>④7年度は事象発生無し。</p>	<p>①各団体における役員負担の削減は一定の成果が出ており今後も継続。</p> <p>②区民の負担削減は今後も継続。</p> <p>③区費徴収日における各団体の集金作業は効果が有り、今後も継続とするが、組長の「緑の募金」、「赤い羽根募金」の集金負担が依然として大きく、結果的に区長の業務ロスに繋がっている。組長の集金作業に工夫が必要。</p> <p>④役員の数が増えない作業については遠慮なく区民の協力を得る。</p>
子育て世代やお年寄りの世代、在来者(正区)や転入者(準区)など様々な人が集まって、中原の未来を考えます	<p>①「ふれあいなかはら」、「いきいきなかはら」への参加を声掛け等を通して増やしていく。</p> <p>②分館事業への小学生の参加、小学生どうしの交流を「箕輪町発足70周年記念事業」を機に仕掛けていきたい。</p> <p>③区内最大のイベントである納涼祭をコロナ禍前の状態に戻し、以前のような活気を取り戻す。</p>	<p>①「ふれあいなかはら」、「いきいきなかはら」ともに参加者が固定した状態で有ったが、毎回テーマが変わり飽きさせない工夫が出来た。</p> <p>②「箕輪町発足70周年記念事業」として小学生を対象に科学体験学習を名古屋で開催。小学生どうしの交流も出来、参加者からは好評を得た。</p> <p>③コロナ前の本来の納涼祭に戻り、大変賑わった。</p>	<p>①「ふれあいなかはら」、「いきいきなかはら」の参加者を増やすとともに継続を心がけたい。</p> <p>②③分館事業の人集めという観点では、区民マレット、区民レクリエーションについては、ややマンネリ化が目立つため、工夫が必要。</p>

区名:松島

キャッチフレーズ:人や地域の個性を尊重し 未来ある安心と安全の暮らしを創る 松島

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
1、防災・防犯 ・災害が発生しても犠牲者が最小となるように、常会組織と避難方法を変えます ・防犯灯、カーブミラーを整備します	① 訓練の強化「避難所開設」「防災机上訓練」「総合防災」「避難訓練」 ② 松島区の防災組織を見直し、実効性のある組織にします ③ 総合防災訓練は、地震想定訓練(震度6弱)を想定した避難訓練を行います ④ 常会から要望のある防災資材の分散化や防犯における防犯灯・カーブミラーの整備	①訓練を4回、その内2回は避難所開設訓練、2回は防災訓練実施、今回は夜間避難所訓練を初めて実施 ②防災組織はまだまだ進展せず ③防災訓練は各常会での参加も多く意識も高まってきているので常会内での訓練強化を図っていく ④今回春日町集会所に防災用の発電機を1台設置し周辺の常会でも使用できる用対応、カーブミラー等については要望書で町に依頼	①大・中規模地震の緊急避難の対応が課題 ②次期は町民体育館が完成し駐車場その他は改善するので今後町との協議を行い災害時の対応を検討する ③常会員以外の災害時対応 (避難所受け入れ等) ④常会内のコミュニケーションと隣組内の助け合い
2、情報の伝達 ・区と区民の情報が早く伝わるように区のホームページを作り伝達します	① 区民が使いやすいホームページを作り、タイムリーな情報発信をします ② ホームページに書類のデータベースを作り、要望書などを作成しやすくします ③ 更新した「防災だより」を全戸配布します、また常会未加入者にも配布を予定	①ホームページはまだまだ活用が進んでいない ②の要望書等もデータベースの作成も今後の課題 ③防災だよりについては更新時に配布し、必要な場合は区に取りに来てもらうよう徹底する	①ホームページを多くの人に見て頂くのか ②データベースの活用と区会だよりの提供 ③常会未加入者に常会に入って頂きたい ④区と常会との伝達状況を確認していく
3、生活基盤の整備 ・常会からの要望書を受けて、道路・河川・集会所などの整備を行います	① 常会の要望書を町に依頼したり、区で工事するなどして改善をします ② 区有林の管理方法などを、町と一緒に考えてゆきます ③ 年間を通じて新井の水の供給や排水のための管理を行います ④ 管理とそれぞれの組合との情報交換を行い危険と判断した場合の速やかな行動	①要望の必要な部分については区にて精査し区単独か町に要望書提出でその都度実施。区単独でも必要な部分は実施して改善を行っている ②区有林の管理は一部県行林の伐採を依頼し管理の強化を図り町との連携強化を行っています。 ③特に土木委員会での見回りと水路上の障害物の撤去と水門等の状況確認を徹底している。 ④特に西天水路の災害級の水量については速やかに担当組合と連携し対策を講じる(水門の閉鎖等)	①要望書の数が多く、実行する数に限度がある ②区有林の管理については今後の方向性と業務委託会社との話し合いを密にし改善していく ③今後のゲリラ豪雨や線状降水帯による集中豪雨の発生時の初期対応の方法を具現化し各組合との情報強化が必要
4、高齢化・少子化 ・長寿者、一人暮らし長寿者、子どもなどの弱者に沿った事業を計画します	① 戸数の少ない常会が将来的にも活動しやすいよう援助してゆきます ② 一人暮らし長寿者を訪問し、困っていることを聞くなどします ③ 松コミクラブで困っている長寿者を援助してゆきます ④ 区と町、関係団体がもっと連携強化を図り情報の共有化を行っていきます	①区主導より常会内でまず意識統一が必要で今のところ大きな問題は出ていないが情報だけは区で検討 ②1人暮らしの長寿者は6月に民生委員と協力して訪問実施祖の都度情報交換する ③区で取りまとめ対応を図っている。(松コミクラブで) ④区と町の連携はその都度対応強化している。関係団体とも連絡を取り合い状況の対応を図る事としている	①高齢者やこどもの居場所を考えたいサロンやサークル・分館行事に参加できるように広報活動を強化して行きたい。 ②一人暮らしの長寿者訪問は続けてゆきたい ③高齢者の慰安会を復活し、これからも多くの長寿者の方の参加を工夫していきたい
5、女性参画 ・区の行政に女性の立場でのご意見が反映できるよう検討します	① 松島区のためにできるだけ女性登用をしたいのですが、常会推薦の役員が多いので難しい所もあります ② 避難所開設訓練では環境改善委員の女性の意見を聞くようにしています ③	①区の役員等は常会よりの推薦が多く女性の登用はできず、今後は区よりの委任を考えて多くしていく ②環境改善委員？選任が出来ず具体的に進展なし今後の課題になる	①仕事によって男女比率はバラツキがあるが、区会議員に女性が必要だと思う。 ②日赤奉仕団や民生委員など区に携わる女性の意見を聞く機会が少ない
6、区会・常会 ・今年度は町民体育館の工事があります ・区と常会、分館、町議との情報交換を進めます	① 災害時の避難時に常会長を補佐する組織を検討して被災者を減らす方法を考えてゆきます ② 町民体育館の工事の時も松島コミュニティセンターが安全に使用できるようにします ③ 関係団体との連携強化、隣組内のコミュニケーション強化	①組織化が思う様にできず、区と常会長との直接の対応になる。難しい問題・課題で今後の継続とする ②コミュニティでの駐車場が完成した為大きな問題とならず済む。来季は周辺全体で考える ③関係団体との連携、特に分館とは強化している。しかし常会内の隣組内のコミュニケーション強化は区の体制では課題となる。(常会との連携強化する事で常会内の強化に繋げる)	①大・中規模地震の緊急避難の対応が課題 ②次期は町民体育館が完成し駐車場その他は改善するので今後町との協議を行い災害時の対応を検討する ③常会員以外の災害時対応 (避難所受け入れ等) ④常会内のコミュニケーションと隣組内の助け合い

令和7年度実績

区名:木下

キャッチフレーズ:大樹のもとに集い 世代を超えた絆でつながる 木下

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
<p>ご近所付き合いで絆を深め、災害時にも対応できる区を目指します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災訓練への取組み ○敬老会の開催(伊那プリンスホール9/24) ○つくしの会の実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催(8ヶ所) ○環境美化活動、常会単位による土木作業、草刈、河川清掃の実施 ○声かけ、あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度木下地区地震総合防災訓練の実施 令和7年8月31日 ○敬老祝い品贈呈(福祉券1007名2,000円) ○つくしの会開催 (10/4木下公民館 46名参加) ○育成会活動:天神様(11/16) ○ふれあいサロンの実施 ○環境美化活動(5/25・11/9土木作業・草刈り他) ○あいさつ運動(月4~5回) 帯無川・木下駅・一の宮 ○いきいき百歳体操の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災訓練への取組み ○敬老会の開催か祝い品贈呈 ○つくしの会の実施 ○公民館・育成会活動の実施 ○ふれあいサロンの開催 ○環境美化活動(常会単位による土木作業、草刈り、河川清掃実施) ○声かけ・あいさつ運動の推進 ○いきいき百歳体操による健康増進の推進
<p>多くの人に参加しやすいよう、行事や活動の取組み方・あり方の工夫をします</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○区民マレットゴルフ(公民館) ○木下ふれあいウォーキング(育成会) ○ブナ林の保護、PR・見学会 ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館活動:区民マレットゴルフ大会(5/21) ○区民文化祭実施(11/23・24)新春マラソン&ウォーキング大会(1/1) ○育成会活動:ふれあいスポーツレクリエーションの実施(5/14) 天神様(11/17) ○長寿クラブ活動(花壇作り・公民館周辺清掃) ○ブナ林保護のため歩道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○区民マレットゴルフ大会の継続 ○ふれあいスポーツレクリエーションの継続 ○ブナ林の保護、歩道整備 ○長寿クラブ活動への参加 ○区民文化祭の実施
<p>豊富な人材の活用により、資源や行事・活動が維持できる仕組みをつくり上げます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事を今まで通り支援し後世に残す。 ○夏、冬のお祭りを充実させる。(山車飾り、鼓笛隊、鹿頭行列、遷座神輿) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知、衛生施設の見学・研修 ○セーフコミュニティ活動の継続(カタクリの里ウォーキング・くらしの相談・生活支援活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事:公民館出前講座 注連飾り作り講座実施 ○夏祭り:鼓笛隊・神輿渡御 納涼祭の実施 ○初祭り:山車飾り 5舞台奉納 ○ゴミ処理・資源ゴミへの分別周知と処理施設の視察研修の実施 ○安全・安心活動(セーフコミュニティ)の実践(ふれあいラジオ体操・くらしの相談・生活支援活動)11/9区ウォーキング教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○伝統行事を継続・支援 ○夏祭り・初祭りの充実実施(鼓笛隊パレード・鹿頭行列・遷座神輿・山車飾り) ○ゴミ処理、資源ゴミへの分別周知、処理施設の視察研修 ○安全・安心活動の継続

令和7年度 実績

区名: 富田

キャッチフレーズ: 豊かな自然と癒しの風景に区民が集う 富田

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
<p>*移住者が住みやすい地区を目指します。 *高齢者世帯の状況を把握し困り事等を近所や地域で対処し支えて行き災害時もしっかり守れるよう取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の雪かき、草刈り、ごみ出し支援の継続 ・高齢独居者宅への訪問の継続 ・災害時タイムラインの作成(自分の家庭・生活に合わせた災害時の行動) ・災害時支え合いマップの更新 ・安心・安全に暮らす環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の雪かき・ゴミ出しの継続を実施 ・高齢者世帯の草刈り・買物・通院の支えあい実施 ・富田区災害対策組織に災害対策:復旧班設置 ・高齢独居者への訪問と緊急連絡:避難補助の実施 ・支え合いマップの見直し作成と個別避難補助対策 ・災害時タイムラインの検討・作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の高齢化・過疎地域への移行を緩やかにして、入区者を増やす取り組みを行う。 ・困り事を話しやすい、相談しやすい環境づくり。 ・災害弱者への対応 ・災害発生時のタイムライン作成
<p>*区民の行事を多数行い、参加者が増加するよう内容の変更や取り組み方を工夫し集う場を作ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マレットゴルフ大会 6月予定 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験の開催 6月、10月予定 ・行事計画段階での検討充実 ・町内一周駅伝への参加 9月予定 ・秋祭りの開催 10月予定 ・区民運動会の開催 10月予定 ・箕輪町70周年記念事業の企画・実施 ・どんど焼きの開催 1月予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール:マレットゴルフ大会 6月実施 ・玉ねぎ収穫祭と定植体験の開催 6月・10月実施 ・箕輪町70周年記念事業の企画するも参加者少数NG ・富田秋祭り実施 ・町内一周駅伝 参加 ・区民運動会実施 ・長寿者慰安会中止 代替として贈答品配布実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の生活スタイルの変化を踏まえ、集まって行事を楽しめる工夫が必要 ・多数の参加を促す工夫
<p>*若い世代の移住を推進し、土地の分譲等 *住宅地の確保を行う。 *富田区人口減少対策 *ライフラインの維持管理 *学童の増員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来を担う家庭と子供の移住促進 ・地域の環境(山・林・景観)を生かした地域づくりを進める。 ・子供の育成の環境づくり ・安全な通学路の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ・住みやすい環境創り、 ・空き家調査と移住促進 ・高齢者集会施設(縁側)対策をすすめた 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地の造成及び誘致 難しいが引き続き進める ・住宅建設に向けた農振地区の除外を進めてゆく ・不動産誘致。 ・暮らして楽しい部落づくり

令和7年度 実績

区名:中曽根

キャッチフレーズ:伝統と自然の中で みんな笑顔に 中曽根

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
跡取りが区へ住む場合は区費・賦役免除の制度を続けます	・継続実施中	・ 継続実施	・継続実施予定
高齢者の状況を把握し、災害などの非常時に備えます	・支えあいマップ、支援者リスト作成 ・民生児童委員による定期的な見守り実施 ・有事の際に組長、班長を中心とした支援を行う ・防災計画・組織の整備・訓練の実施(夜間訓練含む)	・支えあいマップ、支援者リスト作成 ・民生児童委員による定期的な見守り実施 ・有事の際に組長、班長を中心とした支援を行う ・防災計画・組織の整備・訓練の実施 ・ 実施済	・支えあいマップ、支援者リスト作成 ・民生児童委員による定期的な見守り実施 ・有事の際に組長、班長を中心とした支援を行う ・防災計画・組織の整備・訓練の実施(夜間訓練含む)
行事や作業を区民交流の場として継続できる仕組みを検討します	・納涼祭の開催 ・敬老会の開催 ・区民交流会の開催 ・鼓笛隊、どんど焼き ・町内一周駅伝大会への参加 ・獅子舞の継承	・納涼祭の開催 ・敬老会の開催 ・区民交流会の開催 ・どんど焼き ・獅子舞の継承 ・ 実施済	・納涼祭の開催 ・敬老会の開催 ・区民交流会の開催 ・どんど焼き ・獅子舞の継承
八幡社の周辺広場の整備・遊具の設置をします	・八幡社境内地・周辺広場・グラウンド隣接地の支障木(危険木)の伐採・撤去を町の支援を活用し実施予定 ・区内遊園地の環境整備(草刈り、遊具の塗装等)	・八幡社境内地・周辺広場・グラウンド隣接地の支障木(危険木)の伐採・撤去を町の支援を活用し実施(一部完了) ・区内遊園地の環境整備(草刈り、遊具の塗装等) ・ 実施済	・八幡社境内地・周辺広場・グラウンド隣接地の支障木(危険木)の伐採・撤去を町の支援を活用し実施、完了 ・区内遊園地の環境整備(草刈り、遊具の塗装等)
水路・排水路の整備や井浚を区民の賦役や役員人足で実施して多くの区民との交流を深めます	・主に春、秋の水路・排水路の整備や井浚を区民の賦役や役員人足で実施予定	・主に春、秋の水路・排水路の整備や井浚を区民の賦役や役員人足で実施 ・ 実施済	・主に春、秋の水路・排水路の整備や井浚を区民の賦役や役員人足で実施予定

令和7年度 実績

区名:三日町
キャッチフレーズ:活力とふれあいが 明日をつなぐ 三日町

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
区役員や区民の負担を考慮し、継続できる取組みを行います	役員の負担を軽くするためには危険な作業などは業者委託とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・本年は、ミニダンプ(軽トラ)区民所有者より車を借用して、高所作業の対応にあたった。 ・困難な作業は一部地元業者へ依頼した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきつづき業者委託をすすめる方向です
子育てや行事を通じ、ふれあう機会を大切にします	公民館の活用やサークルの立ち上げ補助など区民の意見を聞き取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ、完全にコロナ以前の体制に戻らないが、社協の活動や防災訓練では新しいとりくみが実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等の見直し。運営方法の見直しが必要かもしれません。その上で新しい企画立案できればよい。
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに取り組みます	県道の交通量を減少させ、安心して区内を散歩したり歩きやすくする。そのためにアイデアを募り区民が一つになって行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・上町地区横断歩道設置に向けての公安委員会との打ち合わせや交渉 ・危険な場所の洗いだし 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記事項の継続した取りくみを実施してください。
各常会及び区に加入される方が心地よく付き合える雰囲気を作ります	区の一員としてやりがいのある活動を行う。イベントを通じコミュニケーションの場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・区や常会からの脱会が増えてきた。常会長からの事情ききとりや相談をうけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に脱会への対策はできませんでした。区や各種団体の体制や定款の見直し
防災訓練を通じ、防災意識を高め安全安心な地域づくりに取り組みます	大規模災害(地震)を想定した、区が一丸となるような防災訓練を行う。2次避難所を活用し、多くの区民が参加できる訓練とします。	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて南小学校で防災訓練を箕輪町役場からの応援をうけて実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容は良かったが、区民の参加人数がいまひとつだった。対策や工夫が必要。

令和7年度 実績

区名:福与

キャッチフレーズ:伊那谷を一望する めくもりの里 福与

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
福与区の宝である人のつながりを次世代へとつないでいくため、区民が集い活動する場を大切にしていきます	①福祉にかかわる悩み事など、民生児童委員等と連携して相談しやすい環境を作る ②区内のサークルや団体を支援	①民生児童委員と連携して高齢者世帯への訪問と困りごと支援 ②補助金の支援	①高齢者世帯への支援継続 ②活動への支援
より多くの区民が参加・参画できる行事や活動にしていくために、幅広い区民の声や女性の目線からの声を大事にして取り組みます	①アフターコロナへの変化に応じた区民の集える行事の開催 ②子どもたちの姿が見える取り組みの実施 ③区報の発行、ガイドブックの活用 ④女性が参画しやすい土壌づくり(講話、懇談会等の開催)	①分館・健全育成・区会が協力して、コロナ前の行事、運動会、敬老会の開催 ②新たな区内サークル発足により、子どもたちが集える取組みを実施 ③3回/年の区報の発行 ④常会単位で高齢者を中心とした親睦会(そば打ちの会など)の開催	①役員の負担が大きくなる範囲で行事を継続させる ②サークルへの必要な支援をし、継続的な活動にしてもらう ③3回/年以上を目標に区報を発行 ④常会単位で集いの機会を設ける
防災マップを積極的に活用と災害発生時の支え合いマップを活用します	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の整備更新 ②常会単位の防災学習の開催 ③発災時に迅速に対応できる本部体制の確立 ④地域防災マップの最新情報を加味した更新と区民への周知 ⑤町と連携した防災訓練の実施 ⑥消防団との懇談による防災意識の共有	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の更新 ②一常会で防災学習実施 ③防災組織の年度更新 ④新たな情報の追加なし ⑤町訓練は8月31日に区訓練実施 ⑥消防団との懇談実施。団員減少による活動停滞の懸念を協議(各常会で消火栓の水圧テストを実施した)	①災害時支え合い台帳、緊急時安否確認台帳の年次更新の実施 ②継続実施(一常会/年) ③防災組織の年度更新 ④新たな防災情報入手の都度、防災マップの更新と区民への周知を実施 ⑤町の訓練日に合わせて実施する ⑥消防団活動の一部支援(水利点検)することにより地域防災の意識

令和7年度 実績

区名:長岡
キャッチフレーズ:健やかに暮らせる 自然と歴史に育まれた 長岡

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
転入者が転入しやすい地域(区内)になる様環境を整備する。 区民の区政への参画方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・十沢坂上下の環境整備として年間通じて草刈り等実施する。(美しい長岡) ・移住者向けの資料配布・ホームページの維持業務を計画的に行う。(転入者増を進める活動) ・区役員の選考方法の未改革部分の検討・決定及び実施を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十沢坂上下の環境整備として年間通じて草刈り等実施出来良い環境が保たれた。 ・移住者向けの資料配布もみじ湖祭りで実施出来た。 ・ホームページの維持新しく写真等追加し内容の維持作業が出来た。 ・区役員の選考方法の未改革の区長・区長代理の対応が完了し実施出来た。 	<p>十沢坂付近の環境整備を工夫して継続して下さい。</p> <p>移住者向けのホームページ・パンフレット等運用の工夫をして下さい。</p> <p>役員選考は見直しが終了しましたが、不具合等の修正をして下さい。</p>
ご近所同士で一人暮らしのお年寄りを気にかかけ、区・常会内で状況を共有します	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協生活支援部会が展開し進めている、高齢者の要望アンケートにより実施可能な支援を実施する。 ・ふれあいサロンを積極的に広報し参加者の増加を図る。 ・住民支えあいマップを指針委員・民生委員等でタイムリーに更新し非常時に活用できる物として維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協生活支援部会が対応し要望のゴミ出し・雪かきに対応出来て十分支援できる状態となっている。 ・ふれあいサロンも定期的に実施されており良い状態が維持されている。 ・住民支えあいマップを推進委員・民生委員等を 	<p>地区社協と協力し今後も活動を継続して頂きたい。</p>
世代間の交流の場を守り、近所付き合いを大切にすることで、災害時でも対応できる準備を整えます	<ul style="list-style-type: none"> ・分館による区民ふれあいレクリエーション等の行事により区民間の交流を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館による区民ふれあいレクリエーション等の多くの行事が予定通り実施されており・鼓笛隊復活等もあり活発な区民間交流が実施出来た。 	<p>分館により長岡区の世代間交流の場を続けて頂きたい。</p>
地域の宝である山・水の管理のあり方や取組みを検討します	<ul style="list-style-type: none"> ・森林5か年計画にそって、カラマツ林の択伐を計画的に行い広葉樹もまじえた山として水源涵養林に対応できる山とすると共に、他の森林の管理を実施する。 ・自前の水道を生かし区民増を計る。 ・水道の維持を確実に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林5か年計画にそって、計画通り実施が出来た。他の森林管理も計画により実施出来た。 ・移住者は計画レベルであり水道の問い合わせで移住の宣伝をしており良い状態が維持されている。 ・水道の維持管理が確実に実施出来た。 	<p>水道と森林の確実な管理を継続して下さい。</p>
消防団への加入に対して積極的に区として協力します	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の屯所設備の支援を中心に環境整備を行う。 ・区の会議等を通じて団員確保への協力をを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の屯所トイレ改修を実施し環境整備に対応出来た。 ・消防団の団員確保は情報提供は実施出来たが、団員確保には続がらなかった。 	

区名:南小河内

キャッチフレーズ:古から伝わる伝統と築き上げた暮らしやすさを未来につなぐ 南小河内

主な取組み	具体的な取組み(計画)	具体的な取組み(実績)	来年度への引継事項
<p>区、公民館、社会福祉協議会、青少年健全育成会、消防団活動などの各種団体と連携し、区民相互の交流をはかるとともに、区内での支え合い(近助)文化の醸成やコミュニティの発展をはかる。</p>	<p>①おさんやり(盆祭)の継続実施 ②各種交流やイベントの実施(スポーツ大会、ふれあいサロン等)(公民館、社協活動との連携) ③生活支援(住民相互の助け合い活動等) ④健康づくり支援(介護活動予防等) ⑤青少年健全育成(児童会行事支援等)</p>	<p>・今年はおさんやりを盛り上げるため町政発足70周年記念の補助金を活用し記念タオル全戸に配布、担ぎ手不足によりキャスター装着し担ぎ手と併用で、コースを延長し区内巡行。参加者は、天候も恵まれ伝統行事が継承 ・区民元気はつらつ軽スポーツイベント、どんど焼きを実施 ・社協の活動についても、要支援者への継続支援、元気ダンス、百歳体操の実施。ふれあいサロン活動、社協フェスタでは難病の方のドキュメンタリー映画上映と出前講座「安全安心なまちづくりと多文化共生」の開催</p>	<p>・おさんやりは、今年度のような併用したお舟担ぎが良いと思います。従来の福沢コースを回れるか検討願いたい。 ・公民館の各行事に対する、みのわメイトの活用を理解し積極的に取り組んでもらいたい。</p>
<p>区内の施設や環境整備に向けて、区民総出のボランティア活動の継承・拡充、自主組織への支援を行う。</p>	<p>①区内の協働体制の拡充をはかり、区の施設や管理地の環境整備 ②上の平城跡、知久沢自然体験公園、東山山麓歴史コース、区有林等の整備</p>	<p>・区民総出の美化活動は、年2回、多数の区民の参加を得て区内清掃を実施できた。また年3回の道路清掃も行った。 ・上の平、知久沢自然体験公園、東山山麓歴史の道の整備についても、史跡文化財保護委員会の会員で計画通りの整備作業を実施する。 ・区有林については、100年の森林づくり委員会を継続設置し計画事業を推進できました。 ・一本桜周辺整備も年3回区会として行った。</p>	<p>・区内の環境整備は、区民の皆さんの協力がなければ維持できない。来年度も各組織の協力により進めていってほしい。又、各組織が環境整備を行ったあとは、区として区民に情報を提供して下さい。</p>
<p>区内に保育園、小学校があり『子供達の安全・安心の確保』が重要であり、この点を意識した取り組みを行う。</p>	<p>①見守り隊の継続や支援 ②ゾーン30の周知 ③区内通学道路へのグリーンベルト設置への取り組み ④区内通学道路の安全性確保の取り組み(東小との連携強化)</p>	<p>・子供の安全安心確保のため、見守り隊の登録メンバーの皆様の日々の活動のお陰で事故事件もなく任務全うできました。 ・区内看板で継続周知 ・本年要望、開放水路のためグリーンベルトの設置が不可、蓋をかぶせる改修工事検討へ ・大堰橋へ転落防護柵の設置</p>	<p>・子供の安全安心を確保するため、学校、PTA、区各種団体と協調して区内の危険個所の改善を行政へ要望するとともに、計画的に改善対策を図って下さい。 ・見守り隊の皆様には大変ご苦勞をお掛けしますが、引き続き重要な児童の安全確保をお願いします。</p>
<p>人口減少や高齢化などの課題ある中で、区・常会及び区民との関りを大切に、安全・安心な住み良い地域づくりを目指します。</p>	<p>①若年層(独身者が多い)出会いの場、イベント等考案 ②区費の有効活用で住みやすい地域支援 ③人の集まる活性化地域検討</p>	<p>・分館行事の災害時に備えた防災ミニ運動会で区民の交流を図った。 ・区費の負担減少については、財政上余裕がある状態ではないため、現状維持でご理解を頂きました。 ・昨年度より、区として“みのわメイト”を活用し、区民へのインフォメーションを行った。現在、231名の参加者があり、区民の皆さんに区政をわかりやすく情報提供できた。</p>	<p>・区政だけではなく、分館活動等が“みのわメイト”を活用し、区民との綿密なコミュニケーションを図って下さい。 区会などの会議でも紙ベースの資料削減を目指し、デジタル化に向けて推進をお願いします。</p>

令和7年度 実績

区名:北小河内
キャッチフレーズ:地域が輝き笑顔あふれる 北小河内

主な取り組み	具体的な取り組み(計画)	具体的な取り組み(実績)	来年度への引継事項
安全安心な地域を築きます	1)北小河内安心安全協議会調査結果に対する対策方向付け ・児童の交通安全対策＝道路標示・外側線等道路管理者への要望 ・通学、帰宅時の見守り ・安心、安全に関わる要望・意見のとりまとめ 2)北小河内安心安全協議会の継続取り組み事項の推進 ・啓蒙看板の更新と修繕、地域への啓蒙 3)自主防災の取り組み推進と家庭の防災意識高揚 ・危険予知対策、事前予測の啓蒙	1)おまかせボランティアによる各通学路での毎月の見守り実施。継続的に実施中です。R7年度要望として道路標示を町に要望済み 2)区内見回りを実施2回/年・看板改修、再設置 3)大堰洪水を想定して大堰から支流への水路の危険個所確認を実施、通学路のブロック塀の崩壊箇所確認し自主防災総会で危険個所の徹底をした。	1)会員が少ない状況です。人員確保が問題となります。CSと区の関わり合いを密にしていくように引継ぎ。 2)継続的に実施をする。 3)洪水/地震を想定して危険個所の把握をする、区内企業との避難場所契約の毎年の確認と協力をお願いをする。防災無線活用の学習。
自然環境を守り、暮らしやすい住環境を保全します	1)竹の腰公園周辺の環境整備(東山山麓歴史の道を含む) 2)生活道路・農業用水路の補修、改修 3)アメシロ・アレチウリ駆除 4)アダプトシステムの継続実施	1)年/3回常会単位で草刈り実施・継続実施中。東山山麓は区会中心で年/3回実施・継続実施中。 2)農地水の融和で確認・補修改修実施・継続中 3)区会中心で実施・区草刈り時に同時実施 4)年/3回全区民対象で継続実施中	1)毎年の恒例行事として定着させる。 2)農地水への参加にて区会も関わり対応作業を確認し改善できるようにする。 3)区民、区会にて恒例行事として対応
歴史を伝え、地域の絆を育みます	1)文化財及び東山山麓歴史の道の案内板の管理、修復、整備 2)五社権現堂周辺の環境整備 3)歴史図書館内の文書整理 4)助け合い活動の継続的取り組み 5)ふれあい会・支えあい事業に対する活動支援	1)区会中心に確認・修理維持管理実施。 2)年/1回祭事を実施し同時に環境整備実施。また竹の腰環境整備と同時に実施している。 3)歴代区長同席にて不要書類廃棄・約2.2t廃棄済 4)地区社協の活動で支え合いマップ更新し活用。 5)サロンが6団体活動中です。助成金での支援や	1)と2)区の恒例行事として定着させる。 3)区会引継ぎ時の資料管理、ファイリング、なるべく少量の資料引継ぎの申し送り実施。
少子高齢化に見合う区政体制・機能・デジタル化への対応を行います	1)区会役員の業務軽減のため、諸事業のやり方の追求と見直し、時間短縮、ライン活用でのペーパーレス化 2)みのわメイトの区民への普及のため、区民対象の説明会実施区広報での、みのわメイトの活用	1)区会ではラインを活用し文書配布を極力減らした。申し送りのファイリングも必要性が有るもののみと限定している。会議時間も1H以内にした。 2)みのわメイトを活用し区民への広報実施中、但し今期は区民対象の説明会は実施できなかった。	1)ラインの使用を徹底し、文書ファイリングは極力廃止しデータ保管の徹底。 2)みのわメイト登録者増を目指して登録説明会の実施の徹底。また区行事のみのわメイトでの配信の活用。緊急時の防災無線の活用方法
笑顔で生活できる地域、絆づくりを目指し各種サークル、ボランティア活動の輪を広げ、気軽に参加できるふれあいの場をつくり支援を進めます	1)現在実施されているサークル・ボランティア活動の維持・継続 2)新しくサロンを立ち上げる事への支援 3)高齢者の増加に伴う、敬老会の実施方法の見直し	1)助成金での支援を実施中。極力同席して一緒に活動しています。 2)現在6団体活動している中で他のサロンの立ち上げ支援は出来ていません。 3)人員多く、開催場所選定困難の為に記念品配布で今年度は完了しています。	1)継続して助成金の支援を実施。 2)現状サロンが継続的に実施できるように情報交換と活動参加してみよう。高齢者福祉基金を使用してサロンへの物的助成を考える。 3)形を変えて敬老会の実施を模索